

保健師として対象者への接し方を学ぶ

府在宅保健師の会研修会



府在宅保健師の会研修会は、10月28日（金）、府国保連合会で開催され、32名が参加した。

在宅保健師の会の廣野会長から研修会の意味を考え、今後の活動に活かしてもらいたいと挨拶のあと、中丹東保健所長の弓削氏は、「ほめて育てる育児・育自のコツ！親子ともにハッピーになれる支援をめざして」と題して講演を行った。講演の中で弓削氏は子育てにおける保健指導は細かい指導よりも親が育児を楽しめるような指導の方が望ましいと説明した。



ナースハート主宰の井上氏は、「心が通じ合うコミュニケーション～自分の思いを上手に伝える～」と題して講演を行い、傾聴や共感がコミュニケーションにおいて重要であり、また思いを伝える際には、相手が落ちついて聞けるタイミングに伝えることが大切であると述べた。

情報交換会では交通費の一部自己負担や研修会参加費の徴収などについて、今後の在宅保健師の会の運営について有意義な意見交換を行った。